産業実務演習Ⅰ

科目ナンバリング　MAN-215
選択必修　　2単位

山下　晋一

1. 授業の概要（ねらい）

本授業では、観光産業に関わる業界・企業について具体的な研究を実施する。観光産業は運輸業、旅行業、宿泊業など幅広い産業によって構成される。観光産業の一つの重要な構成要素としてその役割を果たしている運輸業界、特に航空業界に焦点をあて、航空業界が観光業界に果たしている役割と課題、今後の将来展望について、本実務演習において考察する。
航空業界関係者をゲストスピーカーとして招聘し、航空業界と観光産業との関係についての理解を深め、より実践的で深い知識を修得することとする。
本科目は、航空会社、観光地域づくり法人での教員自身の実務経験を活かし、現場での実例、業界における課題をテーマに講義を実施します。特に整備本部人事・労務部門、台湾支店、グランドハンドリング部門、阿寒ＤＭＯなどの責任者として培った知識、経験を授業の中で学生の皆さんに積極的に共有していきます。

2. 授業の到達目標

① 観光産業の基本的知識を修得し、航空業界の現状と課題、今後の展望について説明できる。
② テーマに即したレポート作成、プレゼンテーション、調整、総括を行うことができる。
③ 基礎的な課題認識、分析、課題解決手法を身につけ実践することができる。
④ 社会人としてのマナー、対人スキルを身につけ実践することができる。

3. 成績評価の方法および基準

①テスト、②レポート内容、③プレゼンテーション内容、④学外実習及び授業内での取り組み度合⑤グループメンバーレビューによって成績評価する。それぞれの評価割合は、①20%、②30%、③25%、④20%、⑤5%とする。

4. 教科書・参考文献

教科書
テキストは使用しない。適宜資料を配付する。
参考文献
「観光白書」（国土交通省）HP
「旅行年報」2020（日本交通公社）HP
加藤弘治編著　「観光ビジネス未来白書」　同友館

5. 準備学修の内容

新聞、ＴＶメデイアやＷＥＢ媒体などから主体的に問題意識を持って関連業界の情報収集、分析に務めること。研究テーマに対する知識の習得に継続的に取り組むこと。
研究テーマに関する知識の習得に継続的に取り組むこと。

6. その他履修上の注意事項

本授業の受講者は30人をめどとし、グループ分けをしたうえで、グループごとに研究対象を定め、調査・研究・解決策や展望などを模索する。なお、受講希望者が多い場合は受講理由と抽選にて決定するので、初回の授業に必ず出席すること。
受講生の積極的な取り組み、発表・討論を期待する。
授業の進行ならびに諸般の事情により、授業計画を変更する場合があるので、各回授業の説明に注意すること。

7. 授業内容

【第1回】　【オンライン授業】　授業の全体構成の解説　　航空業界とは
【第2回】　航空業界の観光に果たしている役割
【第3回】　世界の航空業界の歩み
【第4回】　日本の航空業界の歩み
【第5回】　航空自由化の流れ
【第6回】　【オンライン授業】　LCCの役割
【第7回】　イベントリスクとリスクマネージメント
【第8回】　理解度確認テスト
【第9回】　グループ分けと自主研究テーマ設定
【第10回】　調査、自主研究1
【第11回】　調査、自主研究2
【第12回】　レポートドラフト発表1
【第13回】　レポートドラフト発表2
【第14回】　研究発表の取りまとめ1
【第15回】　研究発表の取りまとめ2